

第4章 フェーズ2に向けて

4.1 モニタリング計画 (案)

フェーズ2のモニタリング計画にかかるフローを図2に示す

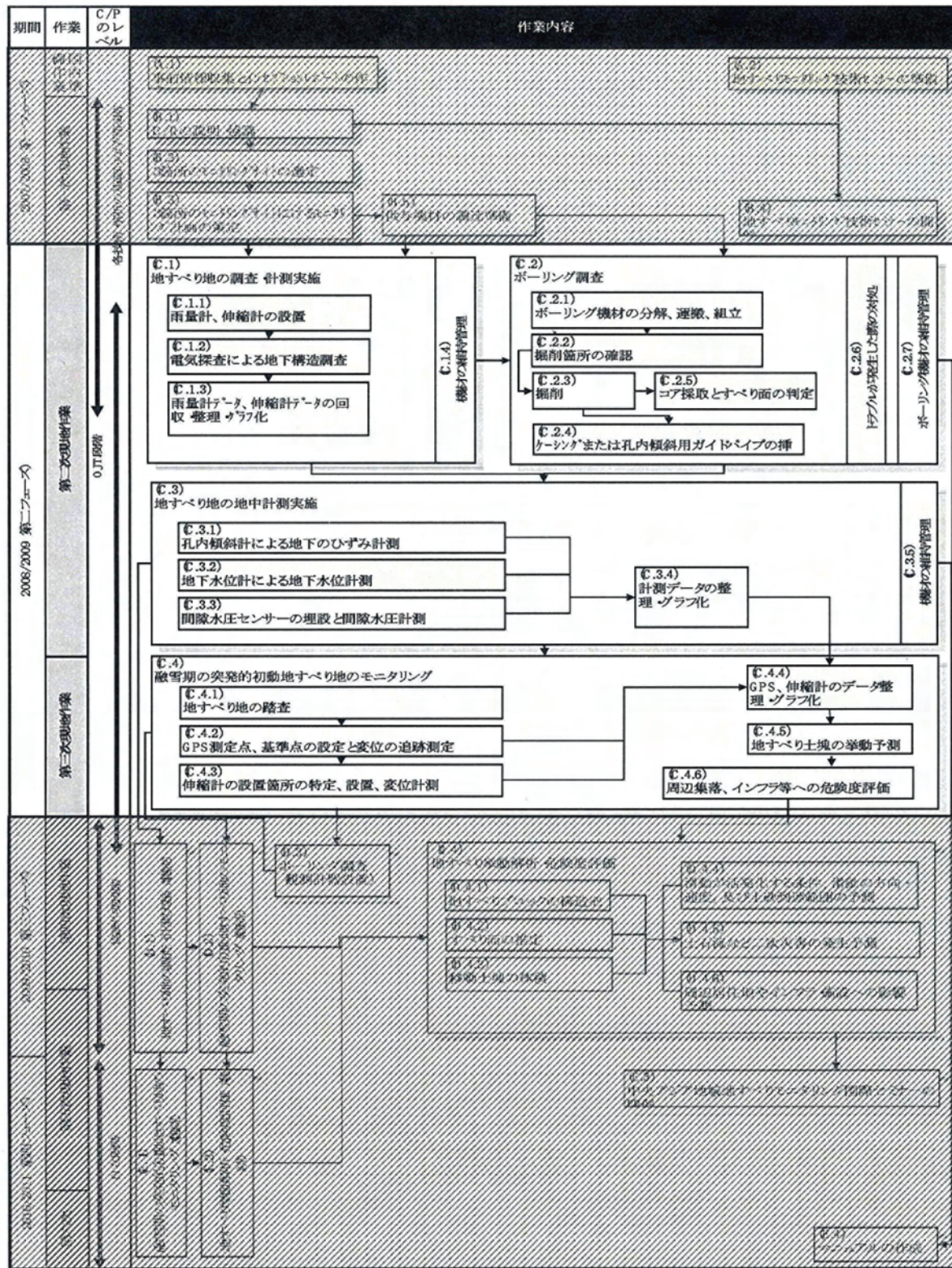


図 2 : 調査計画フロー (モニタリング計画、ハッチ部は完了もしくはフェーズ2完了後)

フェーズ2の作業内容は、基本的にICR時に合意された作業内容を踏襲することとするが、第一次現地調査結果を基に修正を加えた。

4.2 モニタリングに必要な資機材 (案)

・ 日本側準備資機材

日本側で調達する資機材はICRにて先方が要望した資材を念頭に第一年次現地調査にて必要と判断された資機材を選定しその仕様を決定した。日本側で調達する測定用資機材は以下の通りである。

1. ボーリングマシン (本体、ポンプ、ロッド、ビット、コアチューブ等掘削に必要な消耗品一式)
 2. 孔内傾斜計 (ゾンデ、孔内傾斜計用ケーシングパイプ、ケーブル、データロガー)
 3. 伸縮計 (本体、データロガー、アラームユニット、インバー線)
 4. 電気探査機 (本体、ケーブル、電極)
 5. 地下水測定器 (巻尺式水位測定器)
 6. 雨量計 (本体、ヒーター (雪用)、データロガー、アラーム)
 7. 温度計 (本体、データロガー)
 8. 簡易水質分析機
 9. パーソナルコンピュータ (デスクトップ、ラップトップ)
- 又、調査地域移動のため
10. 4WD車両

上記JICAウズベキスタン事務所調達資機材に加えて、現在のものを準備している。

1. 間隙水圧計 (1月のミーティングで要求のあったもの)

・ ウズベキスタン側準備資材

上記日本側が準備した資機材の設置にかかるすべての資材。主要なものを以下に示す

1. ボーリング掘削リグのプラットフォーム用仮設パイプ、渡し板、クランプ等
2. ベントナイト (孔崩落保護材)
3. ケーシングパイプ (孔崩落保護用)
4. 貯水用タンク (必要に応じて)
5. サンプル採取用コア箱
6. 掘削用仮設ヤード及びオペレーター用簡易宿舎 (必要に応じて)
7. ホース、ワイヤーその他一般的にボーリング作業に必要な資材
8. コンクリート (孔内傾斜計ケーシングパイプ固定用、伸縮計測定器、杭固定用)
9. 充填砂 (コンクリートへの混合剤)